

石標が建ち、山内の伝織田信忠邸跡には安土山をうたった蘇峰の詩碑が自身の揮毫により建っているのはそうした交流によるものである。

大正7年(1918)、安土城跡と織田信長を顕彰することを目的として安土保勝会が設立された。国庫補助を得て石段の修理をはじめとした城跡の整備を行っている。

昭和17年から順次安土山の北に広がる内湖の干拓が進められ、大中の湖、安土内湖が耕地化され、伊庭内湖の一部と西の湖のみが内湖として残された。安土山の周囲は陸地となり、山麓に入植者の住宅が建設され、今にいたっている。

3. 遺構の分布と概要

現在、天主や櫓といった城郭建造物は残されておらず、城郭の遺構として確認できるのは石垣や石段、礎石といったもののみである。信長時代の建造物としては、摠見寺三重塔と二王門の2棟のみが指定地内に現存している。

特別史跡安土城跡の城郭遺構は安土山の南半部に集中している。安土山の山頂部には天主跡があり、そこを中心として主郭部が広がっている。主郭部から北東にのびる谷筋を搦手道、南東にのびる尾根筋を東門口道、南にのびる谷筋を大手道、南西にのびる尾根筋を百々橋口道、北西にのびる谷筋を七曲道が通っており、これらが城の内外を結ぶ道となっている。そしてそれぞれ道沿いには石垣で築かれた郭が張り付いている。また、主郭部の最北端に位置する八角平の西方山麓部や北西山麓部(小山田南郭群)にもいくつかの郭が確認される。遺構の北端は天主跡の約200m北に位置するピークにある薬師平と呼ばれる郭である。この付近にも薬師平の南東に階段状に郭群が広がっており、西方山麓部にもいくつかの郭が見られる。一方山麓部の遺構分布としては、安土山の南面に位置する大手口・内堀跡・大手口～百々橋口安土山山麓部・蓮池周辺部、北腰越峠南面、搦手道の起点である搦手口において発掘調査が実施され、礎石や石垣、石段といった遺構が確認されている。

4. 指定に至る経緯と指定の状況

①種別 特別史跡

②名称 安土城跡

③所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦・滋賀県東近江市南須田町ほか

④指定種別 年月日および告示番号

大正15年10月20日 史蹟指定 内務省告示第158号

昭和27年3月29日 特別史跡指定

⑤指定理由

・指定基準 史2

・説明 安土城跡は中世から近世への変革期に当たる戦国時代、武力により天下統一を目前にした織田信長が、統一後の政権をも目論んでその拠点とした城で、壮大な天守閣をもち、石垣を多用した平山城であり、近世型城郭の先駆となるものとして、貴重な遺跡である。

⑥指定地域 別図（特別史跡安土城跡指定範囲）のとおり

⑦指定地の面積 956,628㎡

※山地部分は惣見寺所有 南面および搦手口山裾部に公有地（県・市）、民有地
北部山麓部分に民有地

⑧指定地番（官報告示）

安土町下豊浦字張網

2484・2484の内・2485・2486の内・2487・2488の1・2488の2・2489の内・2490・
2491・2491の1・2492・2494・2495・2496・2496の1・2497の1・2497の内・2498・
2498の1・2499の内・2500・2500の1・2501・2501の内・2502・2502の1・2503の内・
2504・2505・2505の1・2506の内・2506の1・2507・2508の1・2508の2・2512
2512の1・2513の1・2514・2517・2518・2518の内・2519・2523～2527・2554～2557・2563
～2568・2574・2575・2576・2581～2585・2592・2593・2594・2602の内・2603～2607

安土町下豊浦字北原

5876・5877・5877の1・5877の2・5877の3・5878・5879・5879の1・5879の2・
5880・5881・5882・5882の1・5883・5884・5885・5886・5887 合併・5888・5889・
5889の1・5890・5890の1・5891・5891の1・5891の3・5907・5908～5912・5912の1・
5913～5921・5923～5932・5932の1・5933の1・5933～5937・5937の1・5938
5939・5940・5941の1・5942の内・5943・5943の内・5944～5953・5953の2・5953の3・
5954・5954の1・5954の2・5955～5983・5957の1・5959の1・5965の1・5965の2・5964
の4・5968の1・5968の2 合併・5968の3・5969の1・5970の1・5971の1・5971の2・
5972の1・5972の2・5973の1・5976の1・5977の内・5979の1・5981の1・5981の2・
5984 合併・5985の1・5985の2・5986～5994・5990の1・
5993の1・5995の1・5995の2・5996～6031・6000の1・6006の1・6007の1・
6015の1・6017の1・6017の2・6018の1・6022の内・6023の内・6030の1・6031の1・
6032の1・6032の2・6033～6063・6060の1・6064の内・6065～6106・6093の1・6101
の1・6107の1・6107の2・6108の1・6108の2・6109～6114・6114の1・6114の内・6115
の1・6115の2・6116・6117・6118・6118の1・6119・6120・6121の内・6122～6152・6128
の1・6131の1・6136の1・6136の内・6141の内・6153～6165・6167～6175・6167の1・
6167の2・6171の1・6176の内・6177・6177の1・
6178・6178の1・6179の1・6179の2・6180～6223・6193の1・6194の1・6220の1・6946

安土町大字下豊浦字岩神

6224～6268・6239の1・6241の1・6247の1・6266の1・6269 合併・6270～6296・
6270の1・6270の2・6273の1・6293の1・6294の内・6297の内・6298～6316・6307の1・
6315の1・6316の1・6319 合併・6322～6327・6323の1・6328の内・6329～6334・6335
の1・6335の2・6336～6342・6337の1・6342の1・6342の1・6342の2・6344・6345・
6346 合併・6347～6381・6352の1・6355の1・6376の1・6377の1・6378の1・6382の1・
6383・6384の1・6384の2・6385の内・6386の内・6387～6414・

6391 の 1 ・ 6396 の 1 ・ 6397 の 1 ・ 6410 の 1 ・ 6412 の 1 ・ 6412 の 2 ・ 6413 の 1 ・ 6415 の内 ・
6416 ・ 6417 の 1 ・ 6417 の 2 ・ 6418 ・ 6418 の 1 ・ 6419 の 1 ・ 6419 の 2 ・ 6420 ・ 6421 ・ 6422 ・
6423 の内 ・ 6424～6439 ・ 6429 の 1 ・ 6438 の 1 ・ 6440 の内 ・ 6441 の内 ・
6442～6447 ・ 6445 の 1 ・ 6448 の 1 ・ 6448 の 2 ・ 6449～6469 ・ 6451 の 1 ・ 6452 の 1 ・ 6461 の
1 ・ 6462 の 1 ・ 6464 の 1 ・ 6470 の 1 ・ 6470 の 3 ・ 6471 ・ 6472 の 1 ・ 6472 の 2 ・
6473 ・ 6473 の 1 ・ 6474 の 1 ・ 6474 の 2 ・ 6475～6480 ・ 6477 の 1 ・ 6480 の 1 ・ 6481 の 1 ・ 6481
の 2 ・ 6482 の 1 ・ 6482 の 2 ・ 6483 の 1 ・ 6483 の 2 ・ 6484 ・ 6484 の 1 ・ 6485 ・
6485 の 1 ・ 6486～6490 ・ 6486 の 1 ・ 6486 の 2 ・ 6487 の 1 ・ 6487 の 2 ・ 6487 の 3 ・ 6489 の 1 ・
6490 の 1 ・ 6491 の内 ・ 6492 の内 ・ 6494 ・ 6495 の 1 ・ 6495 の 2 ・ 6496 ・ 6497 ・ 6498 ・ 6498
の 1 ・ 6498 の 2 ・ 6501 ・ 6505 ・ 6505 の 1 ・ 6506 ・ 6507 ・ 6510 の 1 ・ 6511 ・
6512 ・ 6512 の 1 ・ 6512 の 2 ・ 6512 の 4 ・ 6513 ・ 6514 ・ 6515 ・ 6515 の 1 ・ 6515 の 2 ・
6516 の 1 ・ 6516 の 2 ・ 6517 ・ 6518

能登川町大字南須田字名後

579 ・ 580 ・ 581 ・ 581 の 1 ・ 586 ・ 588 ・ 592 ・ 595 ・ 597

能登川町大字南須田字立石

598～638 ・ 627 の 1 ・ 628 の 1 ・ 632 の 1 ・ 640～647

能登川町大字南須田字小山田

648～663 ・ 649 の 1 ・ 654 の 1 ・ 666 合併 ・ 668 合併 ・ 665 ・ 669～675 ・ 675 の 1 ・ 677
678～742 ・ 685 の 1 ・ 694 の 1 ・ 697 の 1 ・ 702 の 1 ・ 703 の 1 ・ 708 の 1 ・ 722 の 1 ・ 726 の 1 ・
739 の 1 ・ 742 の 1～4

能登川町大字南須田字岩の駒

743～757 ・ 746 の 1 ・ 756 の 1 合併 ・ 759～800 ・ 763 の 1 ・ 764 の 1 ・ 766 の 1 ・ 774 の 1 ・ 780
の 1 ・ 781 の 1 ・ 786 の 1 ・ 790 の 1 ・ 800 の 1 ・ 802 の 1 ・ 802 の 2 ・ 803～810
810 の 1 ・ 811 合併 ・ 812～820 ・ 813 の 1 ・ 822 ・ 822 の 1 ・ 822 の 2 ・ 823 ・ 824 ・ 825
827 の 1～4 ・ 828 の 1 ・ 829 ・ 830 ・ 831 ・ 831 の 1 ・ 832 ・ 833 ・ 833 の 1 ・ 833 の 2

県道彦根八幡線敷中

安土町大字下豊浦字張網 2607 より同字岩神 6510 の 1 に至る間

安土川敷中

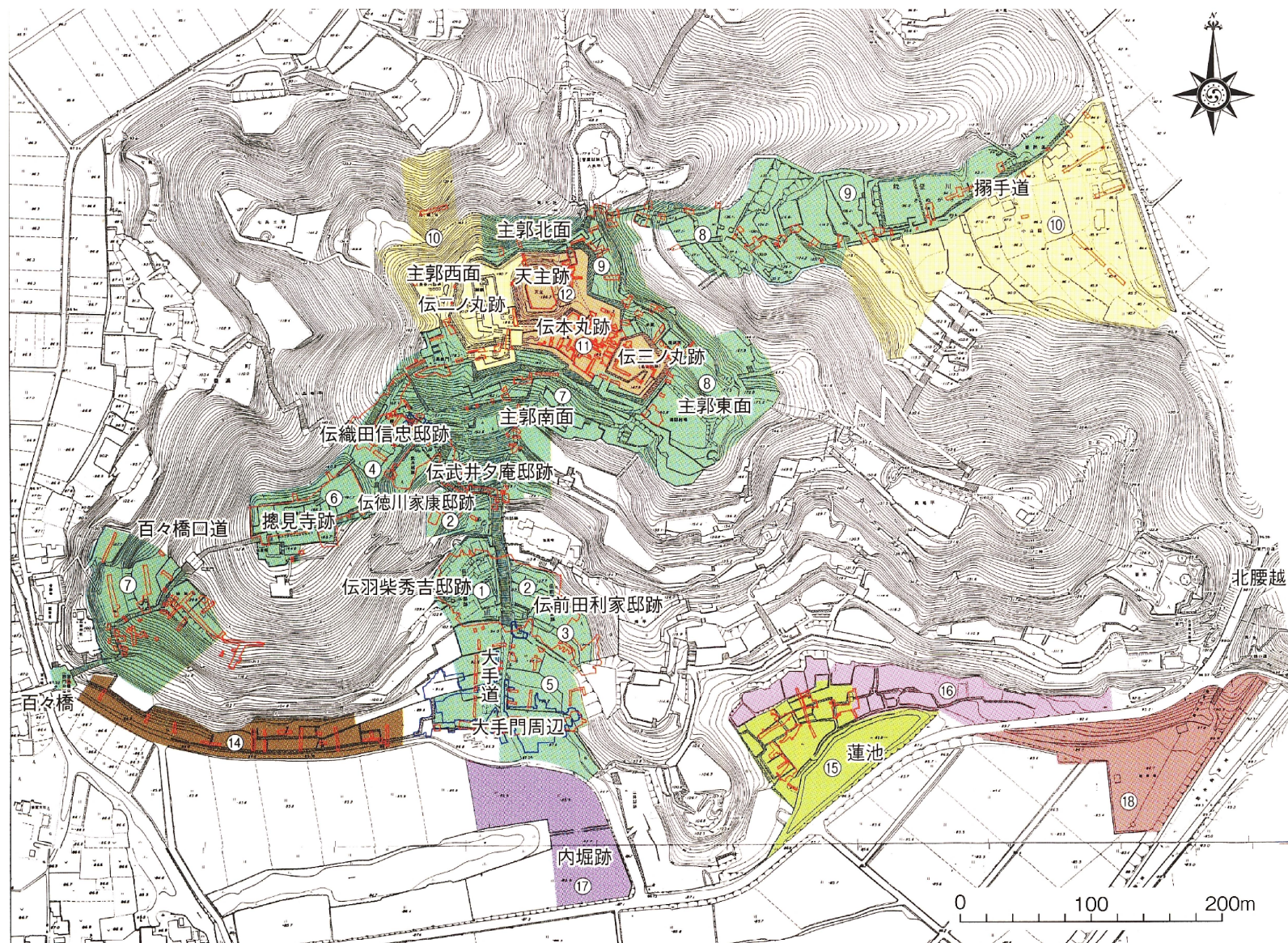
安土町大字下豊浦字張網 2608 より同字北原 5908 地先に至る間

⑨管理団体

- ・名称 滋賀県
- ・指定年月日 昭和3年2月9日

⑩史跡境界の現状

史跡地を示すコンクリート境界杭を設置している。また、道路部分は法面下を史跡地境界としている。



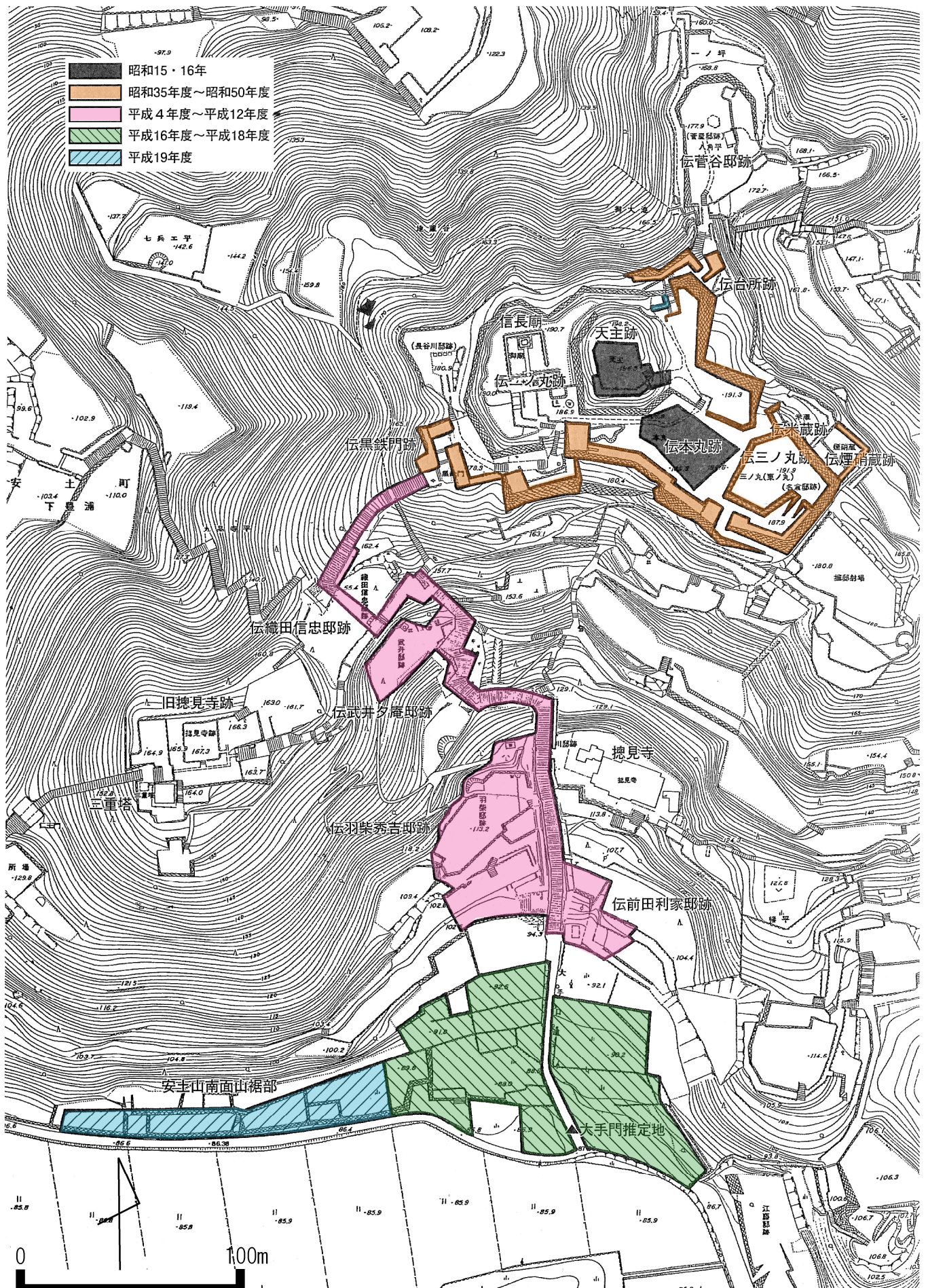
年次別発掘調査位置図

特別史跡安土城跡発掘調査の成果概要

年次		図中の丸数字	発掘調査対象地	調査概要	現状
昭和15年・16年	1940・41	⑪⑫	天主・本丸跡	天主・本丸御殿の礎石を検出	礎石を露出して展示
昭和35年～50年	1960～75	⑩	伝二の丸帯曲輪	門礎石を検出	礎石を露出して展示
平成元年	1989	①	伝羽柴秀吉邸跡上段郭・大手道直線部	建物礎石を検出 築城時の大手道石段を検出	環境整備工事により建物跡を平面表示 築城時の石段を復元
平成2年	1990	①②	伝羽柴秀吉邸櫓門跡・伝前田利家邸跡虎口・伝徳川家康邸跡・大手道直線部・大手道横道部	櫓門の礎石を検出 伝前田利家跡虎口奥より石罫と木樋を検出 大手道直線部から西に延びる築城時の石段を検出	環境整備工事により石罫を復元 木樋レプリカを設置 櫓門跡は平面表示 大手道石段を復元
平成3年	1991	②③	伝前田利家邸跡・黒金門周辺	伝前田利家邸跡の建物礎石を検出	埋戻して現状復旧
平成4年	1992	④	伝武井夕庵邸跡・伝織田信忠邸跡・大手道七曲部	大手道横道部の西端から上方に向かって七曲状に進む石段を検出 伝武井夕庵邸に入る虎口を検出 夕庵邸跡より井戸跡・建物礎石・土蔵跡を検出	環境整備工事により七曲道と虎口を復元
平成5年	1993	⑤	大手門周辺	東西方向の石罫を検出	環境整備工事により石罫を復元
平成6年	1994	⑥	摠見寺跡周辺	摠見寺の建物礎石を検出 下層遺構（礎石）を検出	埋戻して現状復旧
平成7年	1995	⑦	百々橋口道・主郭南面	主郭外周路の石段を検出	埋戻して現状復旧
平成8年	1996	⑧	搦手道上半部・井戸郭・主郭東面	伝煙硝蔵跡から瓦集積遺構を検出 主郭外周路の石段を検出 伝米蔵跡より金箔鯨瓦を検出	埋戻して現状復旧
平成9年	1997	⑨	搦手道下半部・主郭北面	搦手よりスロープ状の道を検出 主郭部北虎口の石段を検出	埋戻して現状復旧
平成10年	1998	⑩	搦手道湖辺部・主郭西面	湖辺部より溝状遺構を検出 湖辺部より金箔瓦・木簡を検出 伝二の丸東溜まりより火災を受けて炭化した柱跡を検出	埋戻して現状復旧
平成11年	1999	⑪	主郭中心部伝本丸跡	建物礎石を検出 秀吉時代の清涼殿に復元可能 伝三の丸下より笏谷石製容器を検出	埋戻して現状復旧
平成12年	2000	⑫	主郭中心部天主跡	天主礎石を検出	埋戻して現状復旧
平成14年	2002	⑭	大手口～百々橋口	東西ニヶ処の虎口を検出	環境整備工事により虎口を復元
平成15年	2003	⑮	蓮池周辺西地区	雛壇状の郭と虎口を検出	埋戻して現状復旧
平成16年	2004	⑯	蓮池周辺東地区	雛壇状の郭と虎口を検出	埋戻して現状復旧
平成17年	2005	⑰	内堀跡	内堀の石垣と基礎の胴木を検出	埋戻して現状復旧
平成18年	2006	⑱	北腰越南面	石垣	埋戻して現状復旧

特別史跡安土城跡環境整備の成果概要

整備年次		整備地区	整備概要
昭和4年 ～6年	1929 ～31	山内各所	大手口・百々橋口・東門口に「安土城跡」の石標を設置 史跡の境界杭を設置 伝二の丸跡の石段・石垣を修理 百々橋口から黒金門跡までと百間石垣（解体前の現摠見寺境内石垣）までの石段を修理
昭和15年・16年	1940・41	天主・本丸跡	礎石を露出して展示
昭和35年～50年	1960～75	主郭部	石垣修理
平成4年	1992	伝羽柴秀吉邸櫓門跡・大手道直線部	櫓門跡平面整備・大手道の復元
平成5年	1993	伝羽柴秀吉邸跡上段郭・大手道直線部	上段郭の平面整備・高石垣の復元・大手道の復元
平成6年	1994	伝羽柴秀吉邸跡下段郭・大手道直線部	下段郭の平面整備・武者走りの復元・現摠見寺境内石垣の解体
平成7年	1995	大手道直線部	大手道の復元
平成8年	1996	大手道横道部・伝羽柴秀吉邸跡	大手道の復元・伝羽柴跡の平面整備
平成9年	1997	大手道七曲部・伝武井夕庵邸跡	大手道の復元・伝武井邸跡の平面整備
平成10年	1998	大手道尾根道部	大手道の復元
平成11年	1999	伝前田利家邸跡虎口周辺	平面整備・木樋レプリカの設置
平成12年	2000	伝前田利家邸跡下段部	石垣復元・平面整備
平成13年	2001	大手口周辺	(整備に伴う事前発掘調査)
平成14年	2002	大手口周辺	(整備に伴う事前発掘調査)
平成15年	2003	大手口周辺	(整備に伴う事前発掘調査)
平成16年	2004	大手口周辺東側	石墨復元・平面整備
平成17年	2005	大手口周辺西側	石墨復元・平面整備
平成18年	2006	大手口南面	石墨南面平面整備
平成19年	2007	大手口～百々橋口	石垣と虎口の復元



特別史跡安土城跡環境整備事業実施状況平面図